A Record of *Pelagia noctiluca* (Forskål) collected from Toyama Bay.

Shigeki TAKAYAMA

**abstract**

Many *Pelagia noctiluca* were collected from the east coastal water regions in Toyama Bay, from August to September, 1992. This medusa is new record in Toyama Bay. Diameter of medusae were from 20 mm to 40 mm. Medusae were reared for 8-days in aquarium.

Fig.1 Collecting sites of *Pelagia noctiluca*.

**採集記録**

<table>
<thead>
<tr>
<th>採集日</th>
<th>採集場所</th>
<th>採集個体数</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1992年8月29日</td>
<td>魚津港（北港、南港）</td>
<td>約40</td>
</tr>
<tr>
<td>8月30日</td>
<td>魚津市卒初</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>9月2日</td>
<td>魚津港（北港）</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>9月12日</td>
<td>魚津港（北港、南港）</td>
<td>8</td>
</tr>
</tbody>
</table>

オキクラゲは熱帯外洋性のクラゲで、暖流によって運ばれてくる（久保田、1992）。今回の
採集記録より、8月29日と9月12日に多くの個体が採集されており、この頃にオキクラゲが沿岸に近付いたと思われる。傘径は20〜40cmでオキクラゲに対しては小さく、口柄の欠損した個体も見られた（第2図）。また、オキクラゲは波の静かな時は水面近くを泳いでいたが、波が高くなるに従い、クラゲの数は減少した。

採集したオキクラゲは縦45cm、横90cm、奥行45cmのガラス水槽で飼育を試みた。

水温は23.5〜26.0℃で、少量の自然海水を注水した。

飼料はアルテミアのノープリウス、冷凍オキアミ、ホッコリアカエビのミンチを与えた。アルテミアのノープリウスはほとんど食べなかった。エビのミンチやオキアミはピンセットで触手に付けると口に運んで食べた。

オキクラゲと同じ水槽で飼育したアンドンクラゲ Carybdea rastoni Eayache はオキクラゲに獲られていた。

飼育期間は8日間であった。

本報告をまとめるに当たり、文献の提供をいただいた富山市科学文化センターの布村 昇 氏に感謝致します。

引用文献
久保田 信(1992)：鰈科魚。In 原色検索日本海岸動植物図鑑1, 60〜69, 西村三郎編, 保育社, 大阪。
坂下栄作(1955)：富山県動物目録. 1 - 192.
新谷 力(1981)：海産動物。In 石川県内浦町史, 1, 188〜219, 内浦町史編纂専門委員会編, 石川県内浦。